



福島医発第437号(地)
平成30年 5月10日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

医療事故調査・支援センター平成29年年報の公表について

医療事故調査制度は、医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、医療事故調査・支援センターにおいて、その調査報告を収集し整理・分析することで医療事故の再発防止につなげ、医療の安全を確保することを目的として実施されております。

今般、「医療事故調査・支援センター平成29年(2017)年報〈事業報告〉」が公表された旨、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長より日本医師会を通して別紙のとおり連絡がありました(年報の概要については別添の「要約版」をご参照ください)。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただきますとともに、貴会会員への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、本年報は医療事故調査・支援センターのホームページよりダウンロードが可能であることを申し添えます。

記

医療事故調査・支援センター 平成29年(2017)年報〈事業報告〉の URL
<https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/nenpou-h29.pdf>

小郡三井医師会より

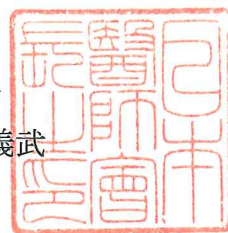
医療安全管理担当理事 吉武靖博
副会長 山下拓郎

日医発第 100 号（法安 16）

平成 30 年 4 月 23 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 横倉 義武



医療事故調査・支援センター平成 29 年年報の公表について

医療事故調査制度は、医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、医療事故調査・支援センターにおいて、その調査報告を収集し整理・分析することで医療事故の再発防止につなげ、医療の安全を確保することを目的として実施されております。

今般、「医療事故調査・支援センター平成 29 年（2017）年報〈事業報告〉」が公表された旨、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長より本会宛連絡がありましたのでお知らせいたします（年報の概要については別添の「要約版」をご参照ください）。

本年報の全体については、医療事故調査・支援センター（日本医療安全調査機構）ホームページの下記 URL からダウンロードが可能であるとともに、製本版冊子が同センターから各都道府県医師会宛てに各 3 部送付されておりますので、併せてご確認、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

なお、本会会員に対しては、年報の抜粋として「要約版・数値版」を日本医師会雑誌 7 月号に同梱の予定でありますことを申し添えます。

記

・医療事故調査・支援センター 平成 29 年（2017）年報〈事業報告〉の URL
<https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/nenpou-h29.pdf>

以上

各医師会通知



医 政 安 発 0326 第 2 号
平 成 30 年 3 月 26 日

公益社団法人日本医師会長 殿

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長
(公 印 省 略)

医療事故調査・支援センター平成 29 年年報の公表について

医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

医療事故調査制度は、医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、医療事故調査・支援センターにおいて、その調査報告を収集し整理・分析することで医療事故の再発防止につなげ、医療の安全を確保することを目的として実施されております。

今般、「医療事故調査・支援センター平成 29 年（2017）年報〈事業報告〉」（以下「年報」という。）が公表されましたのでお知らせいたします。

相談や医療事故報告等の現況は、別添のとおりです。貴職におかれましては、内容を御確認の上、貴会会員に対する周知をお願いいたします。

年報につきましては、同センターのホームページ <https://www.medsafe.or.jp/> にも掲載されていますことを申し添えます。

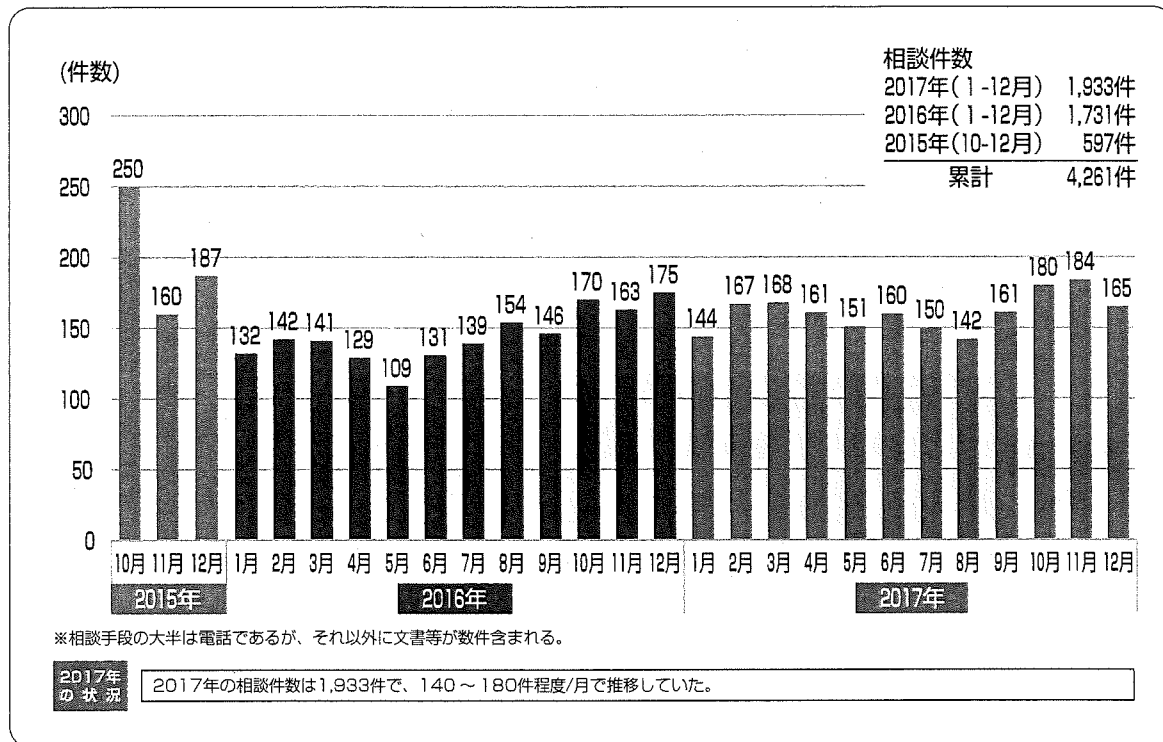
Ⅱ 年報：相談・医療事故報告等の現況

要約版 (2017 年)

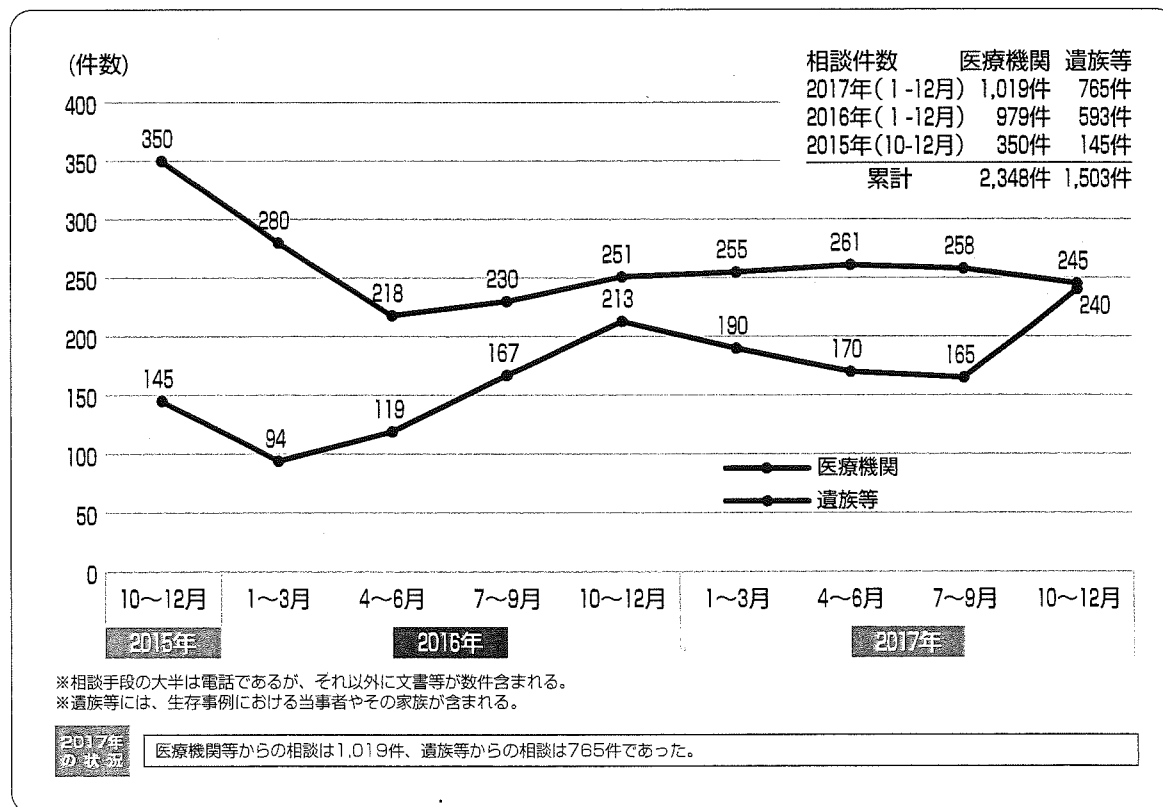
本要約版は、集計結果の中から主要項目を抽出し、報告件数等について平成 29 年（2017）1 月 1 日～同年 12 月 31 日までの状況を、制度開始からの推移あるいは前年比等によりまとめている。

相談の状況

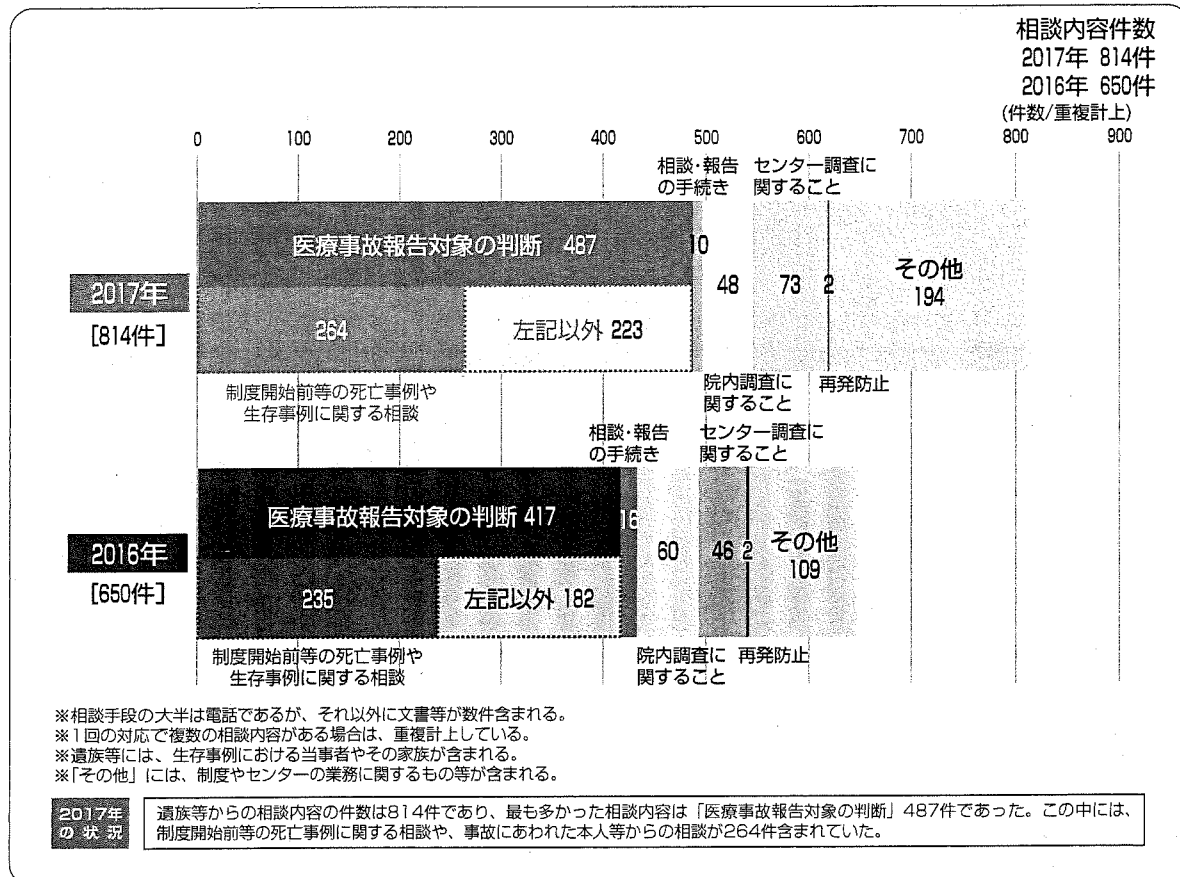
1. 相談件数の推移（数値版 1-(1)-①参照）



2. 相談者別件数の推移（数値版 1-(1)-②参照）



3. 遺族等の相談内容（数値版 1-(1)-④参照）



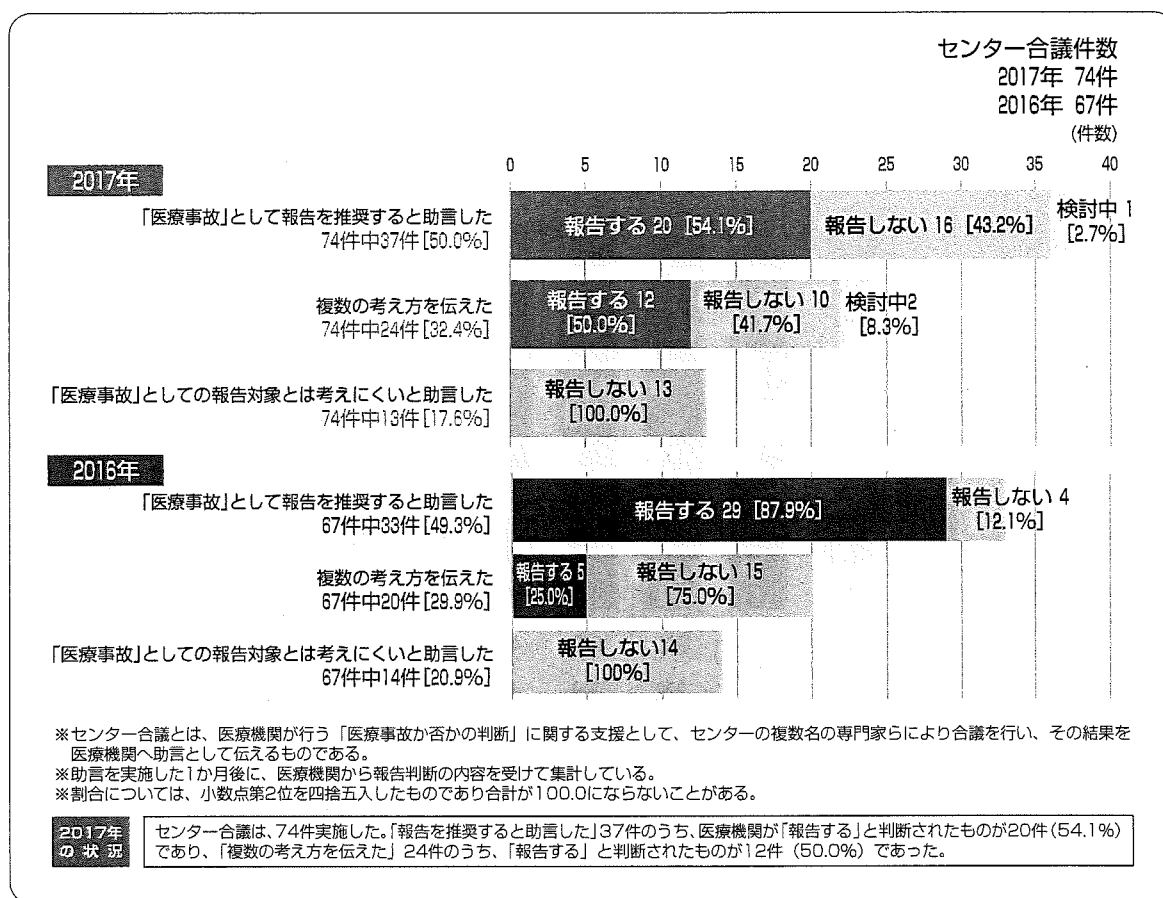
4. 遺族からの求めに応じて医療機関へ伝達した件数（数値版 1-(1)-⑤参照）

(件数)				伝達件数	
医療機関	2017年 (1-12月)	2016年 (7-12月)	合計	2017年(1-12月)	21件
				2016年(7-12月)	14件
				累計	35件
病院	19	12	31		
診療所	2	2	4		
助産所	0	0	0		
合計	21	14	35		

※医療機関への伝達は、厚生労働省医政局総務課長通知（平成28年6月24日医政総発0624第1号）「遺族等からの求めに応じて、相談の内容等を病院等の管理者に伝達すること」に基づく。

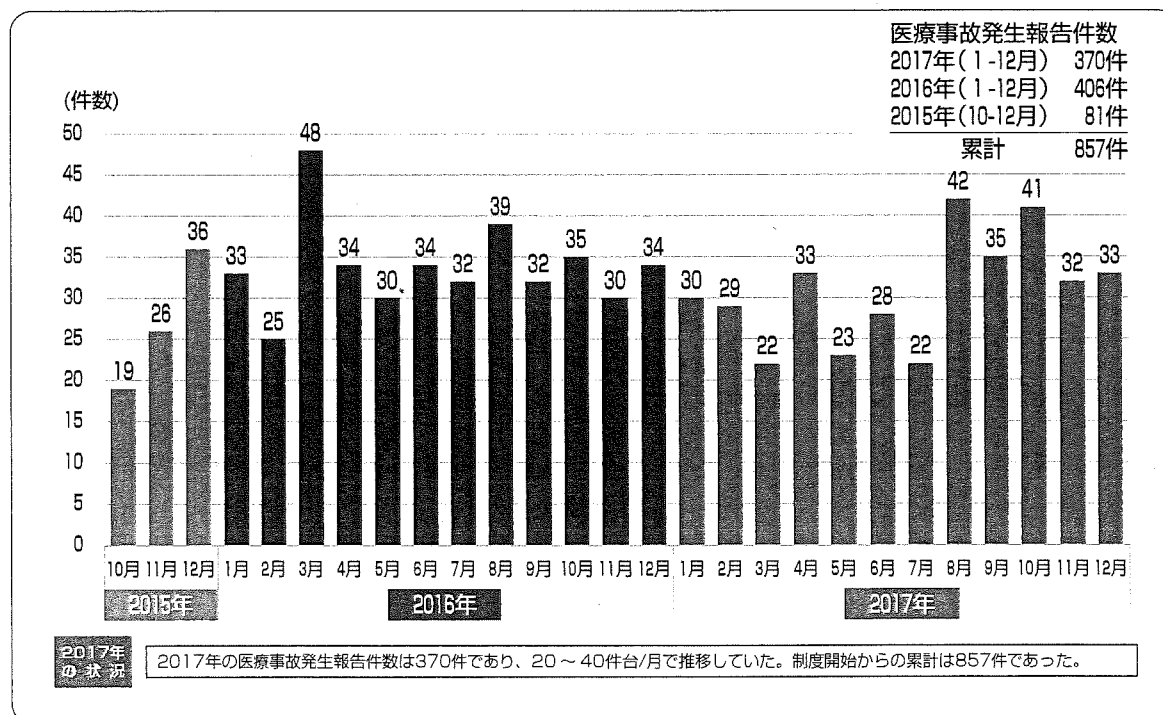
2017年の状況
遺族等からの求めに応じて実施した医療機関への伝達は21件であった。

5. センター合議における助言内容および医療機関の判断 (数値版 1-(2)-④参照)

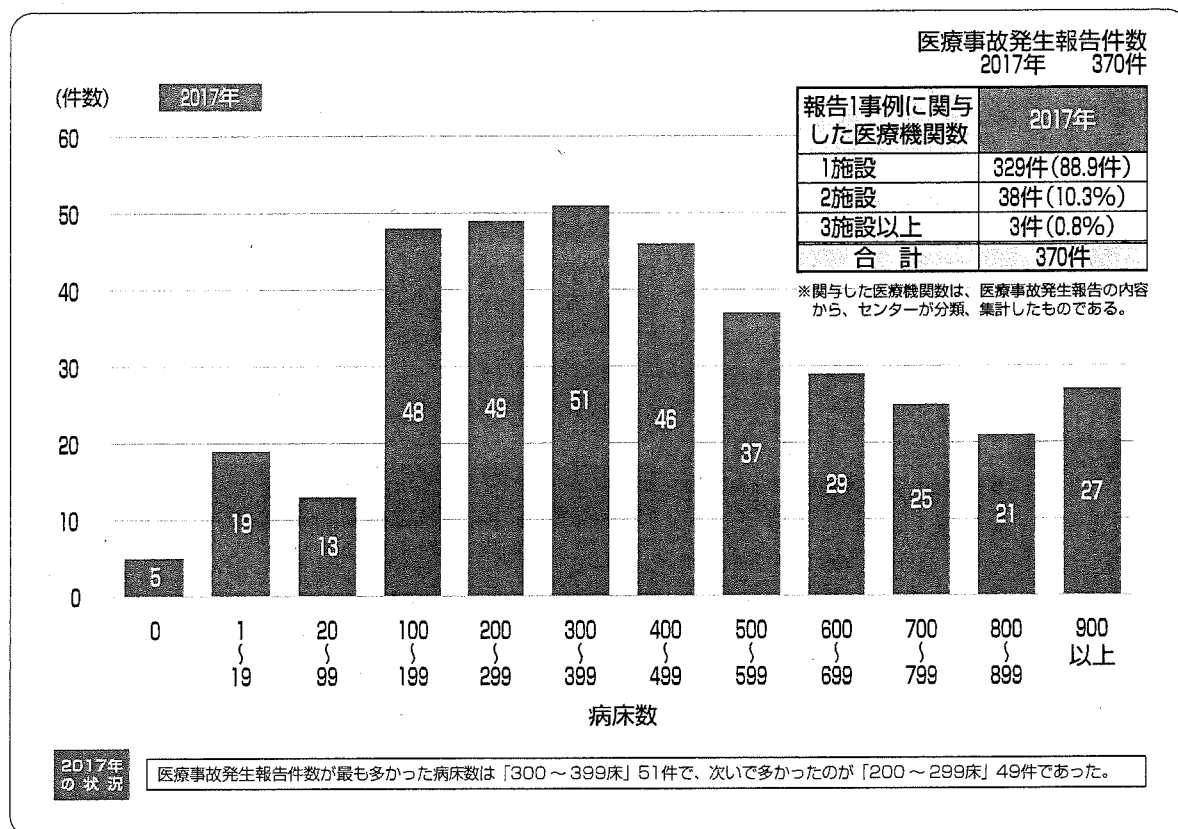


医療事故発生報告の状況

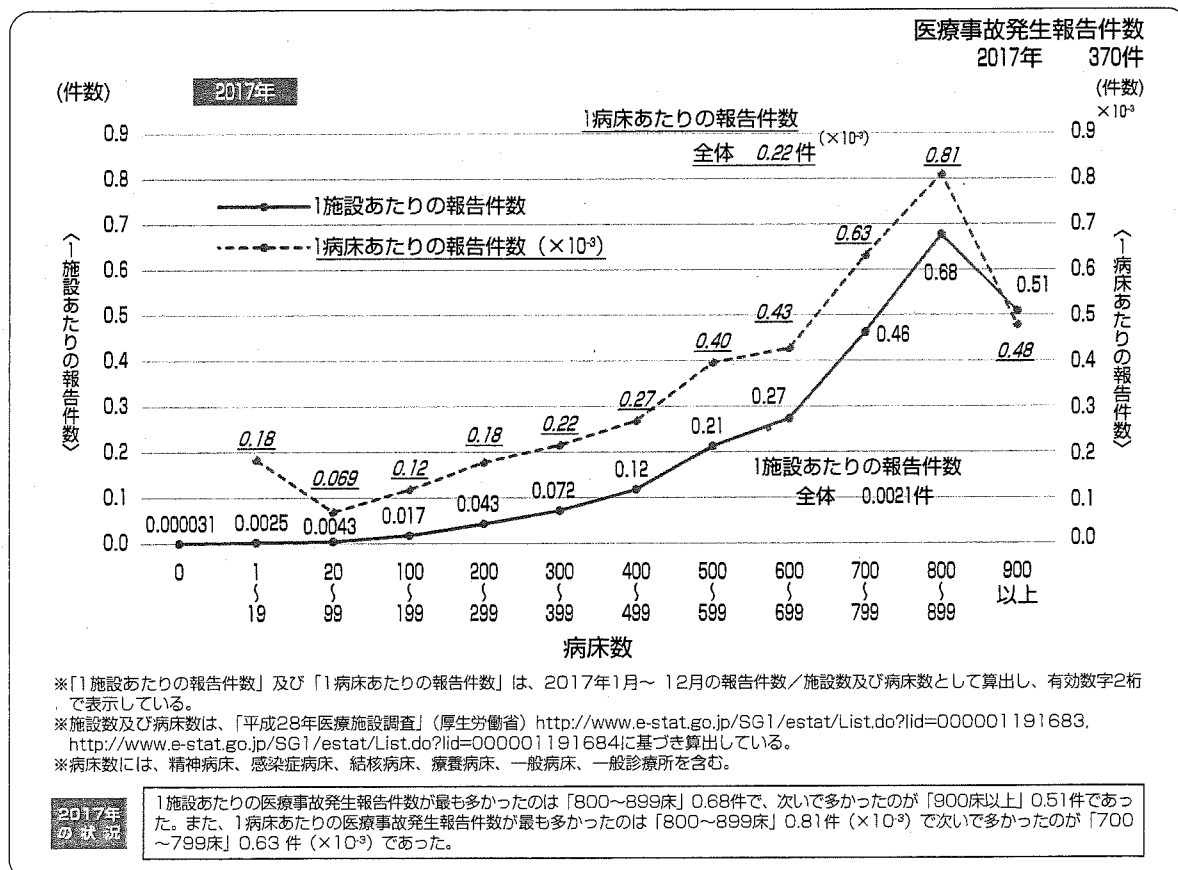
6. 医療事故発生報告件数の推移 (数値版 2-(1)-①参照)



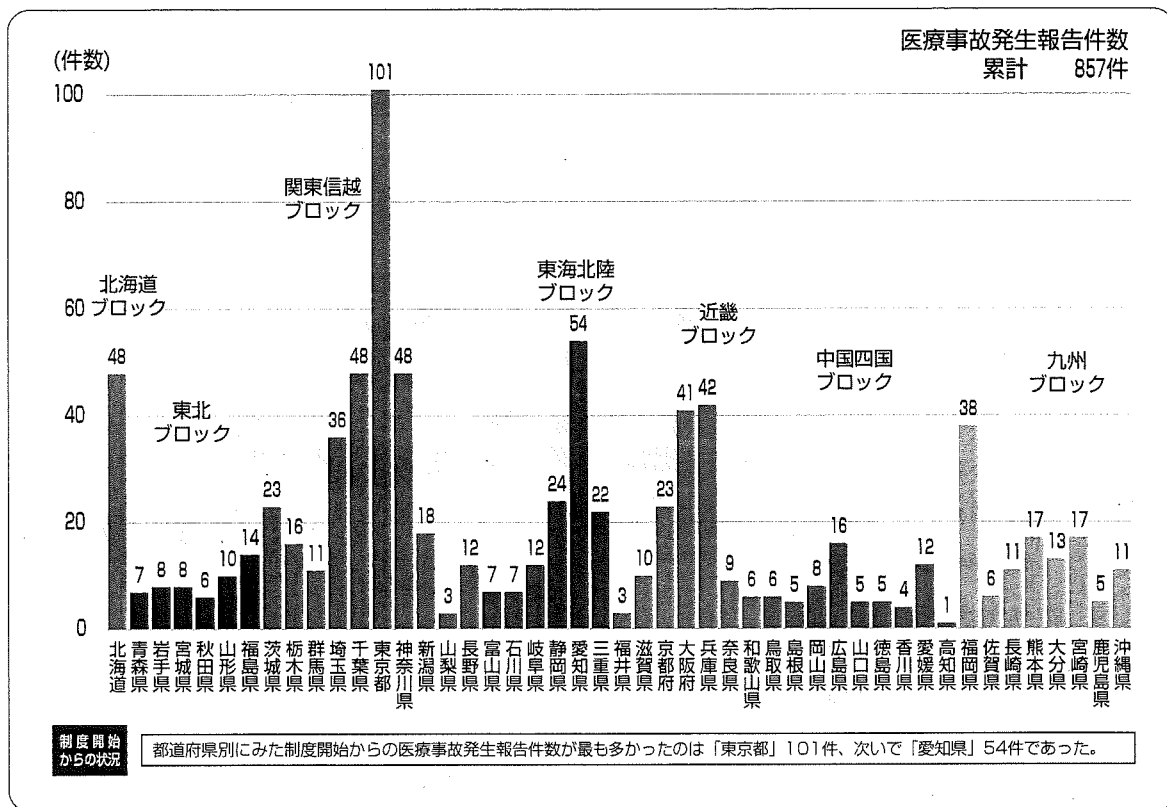
7. 病床規模別医療事故発生報告件数（数値版 2-(1)-⑤・⑥参照）



8. 病床規模別1施設および1病床あたりの医療事故発生報告件数（数値版 2-(1)-⑤参照）

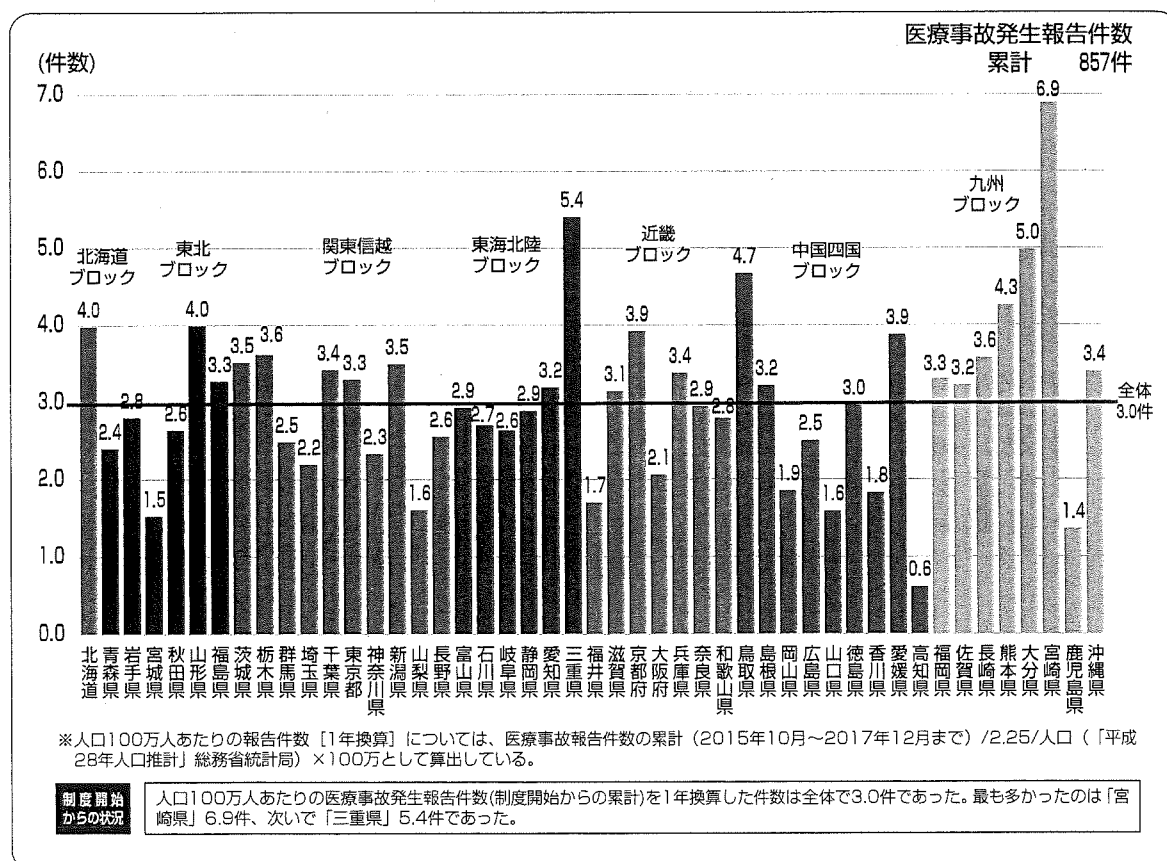


9. 都道府県別医療事故発生報告件数（数値版 - (1) - ⑦参照）

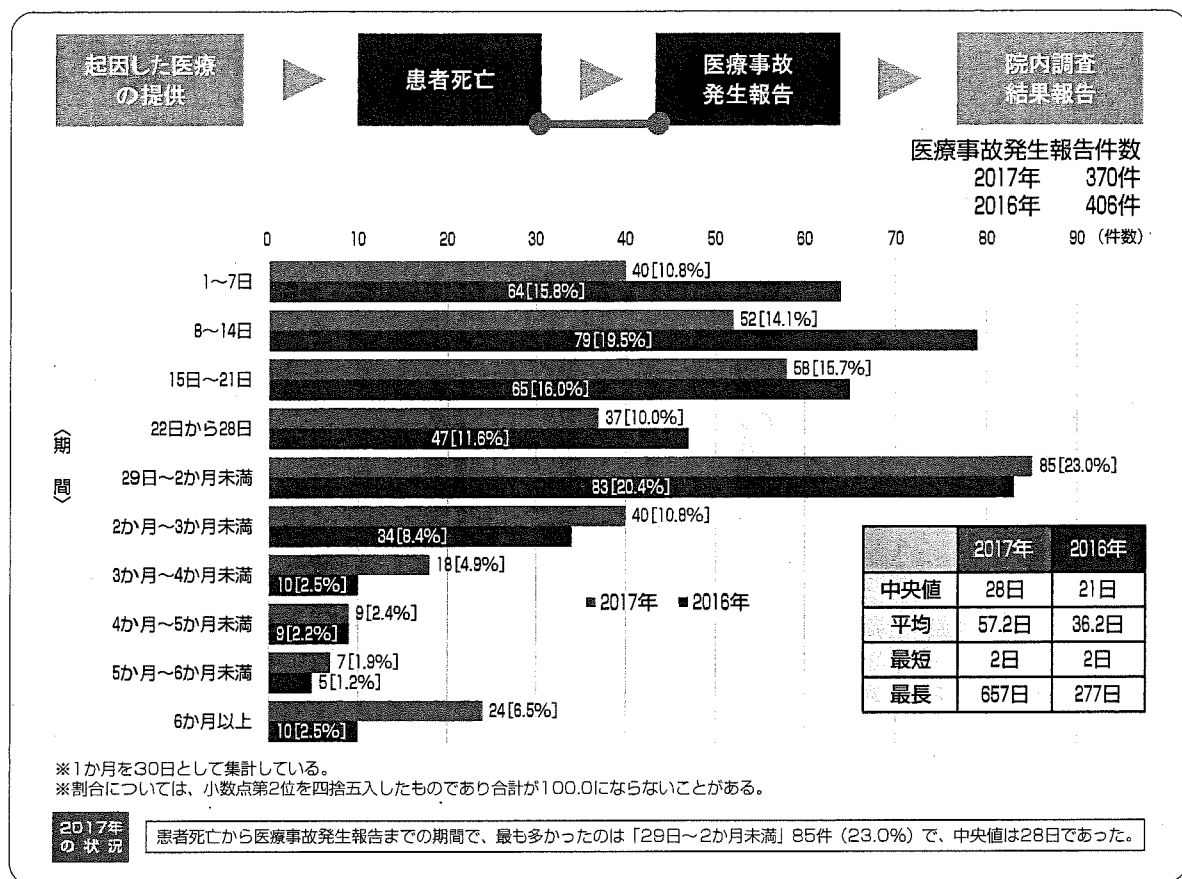


Ⅱ 年報：相談・医療事故報告等の現況
要約版

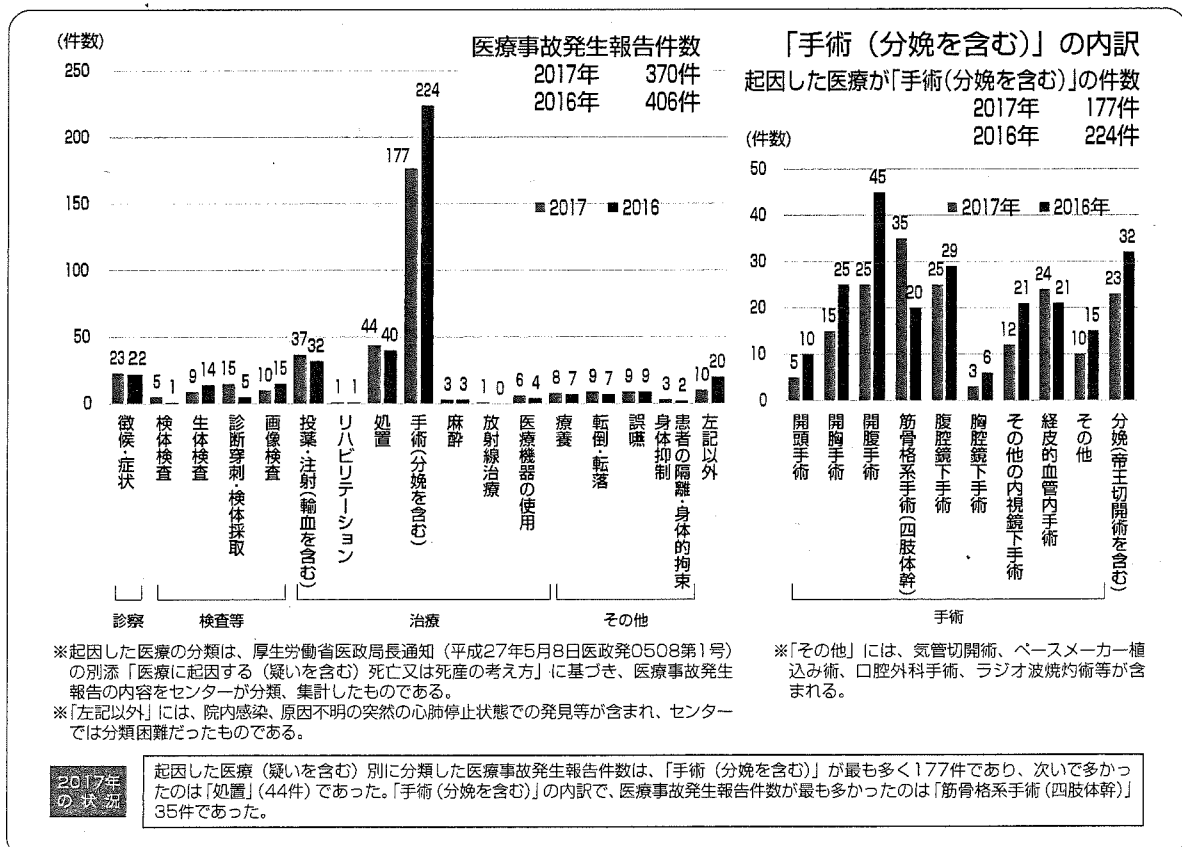
10. 都道府県別人口100万人あたりの医療事故発生報告件数[1年換算]（数値版 参考 2- (1) - ⑦参照）



11. 患者死亡から医療事故発生報告までの期間（数値版 2-(1)-①参照）

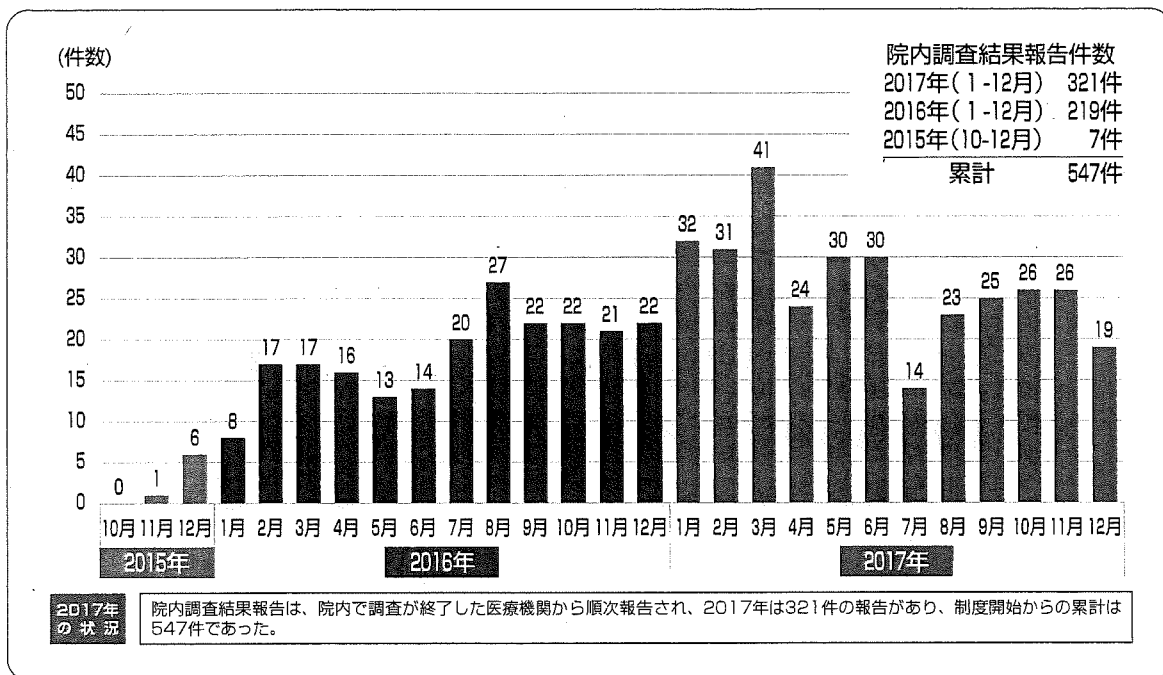


12. 起因した医療（疑いを含む）の分類別医療事故発生報告件数（数値版 2-(3)-①・②参照）

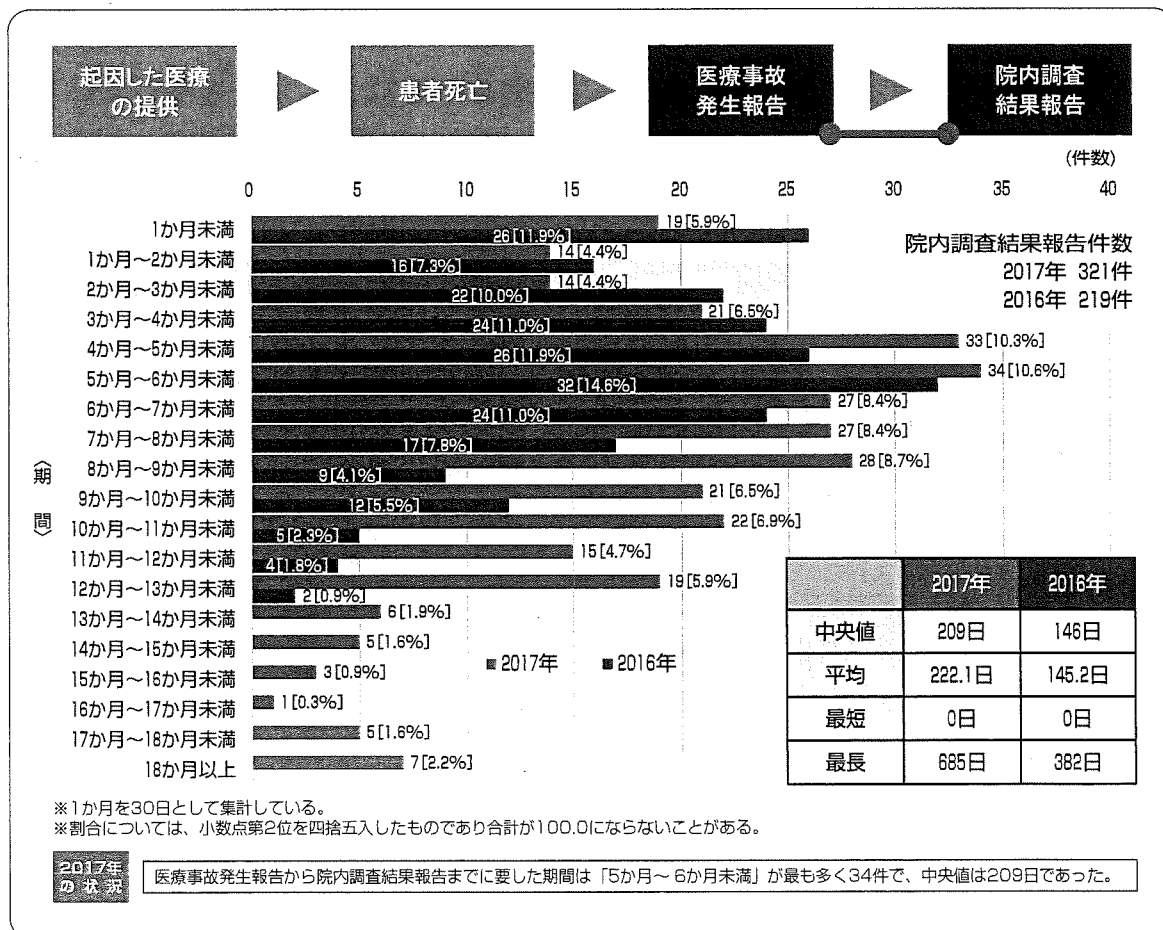


院内調査結果報告の状況

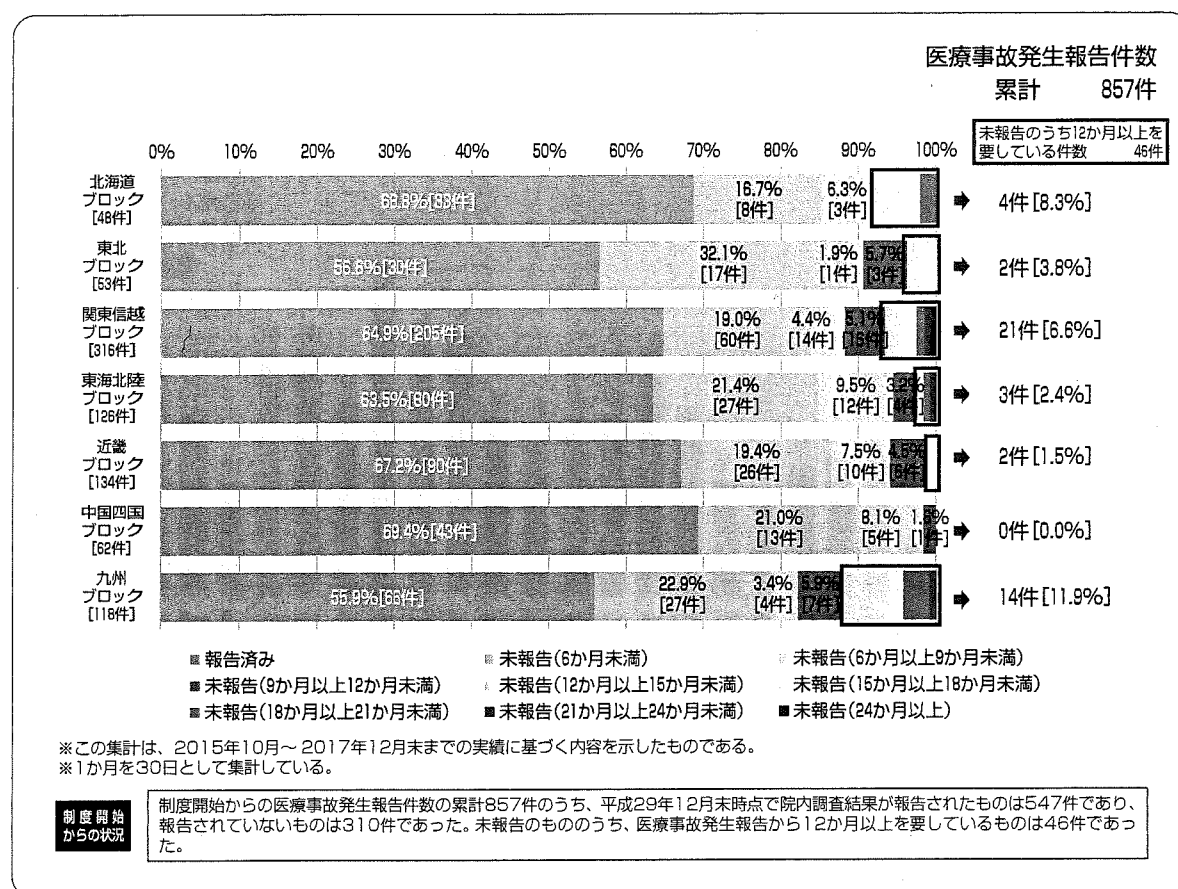
13. 院内調査結果報告件数の推移（数値版 3-(1)-①参照）



14. 医療事故発生報告から院内調査結果報告までの期間（数値版 3-(1)-③参照）



15. 地域ブロック別院内調査結果の報告状況（数値版 参考 3-(1)-③参照）



16. 医療事故発生報告から院内調査結果報告までに12か月以上を要している理由（数値版 3-(1)-③・参考 3-(1)-③参照）

報告済み 48件
未報告 46件
(重複計上)

理 由		件数
制度	制度の理解不足	7
調査	解剖結果が出るまでに時間を要した	9
	外部委員の派遣までに時間を要した	25
	委員会開催のための日程調整に時間を要した	15
	調査検討に時間を要した（委員会を複数開催した等）	11
	報告書の作成に時間を要した	21
説明	遺族への調査結果の説明やその後の対応に時間を要した	26
その他	上記以外の理由で時間を要した	5
特に時間を要した要因はない		3
合 計		122

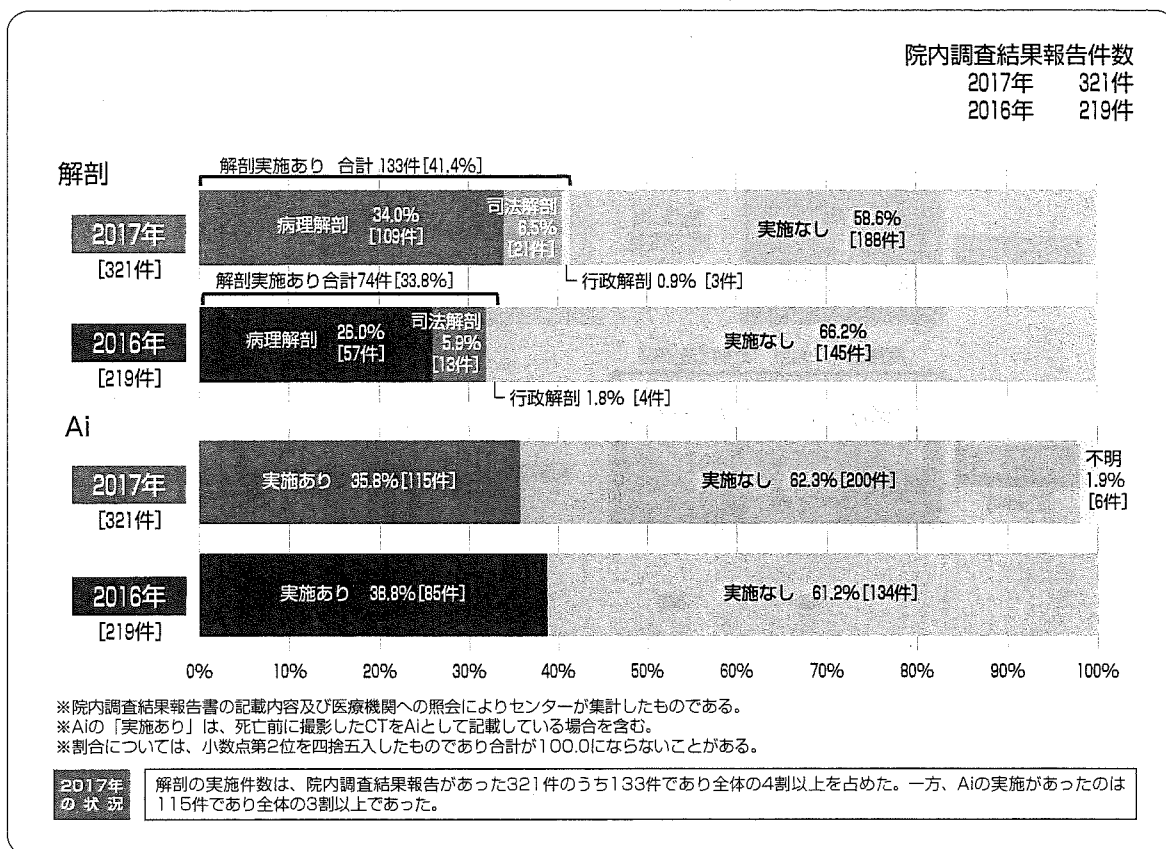
医療事故発生報告から12か月以上を要して院内調査結果報告があったもの48件と、2017年12月末の時点において未報告のもので12か月以上を要している46件について集計している。

※この集計は、医療機関への照会に基づきセンターが集計したものである。

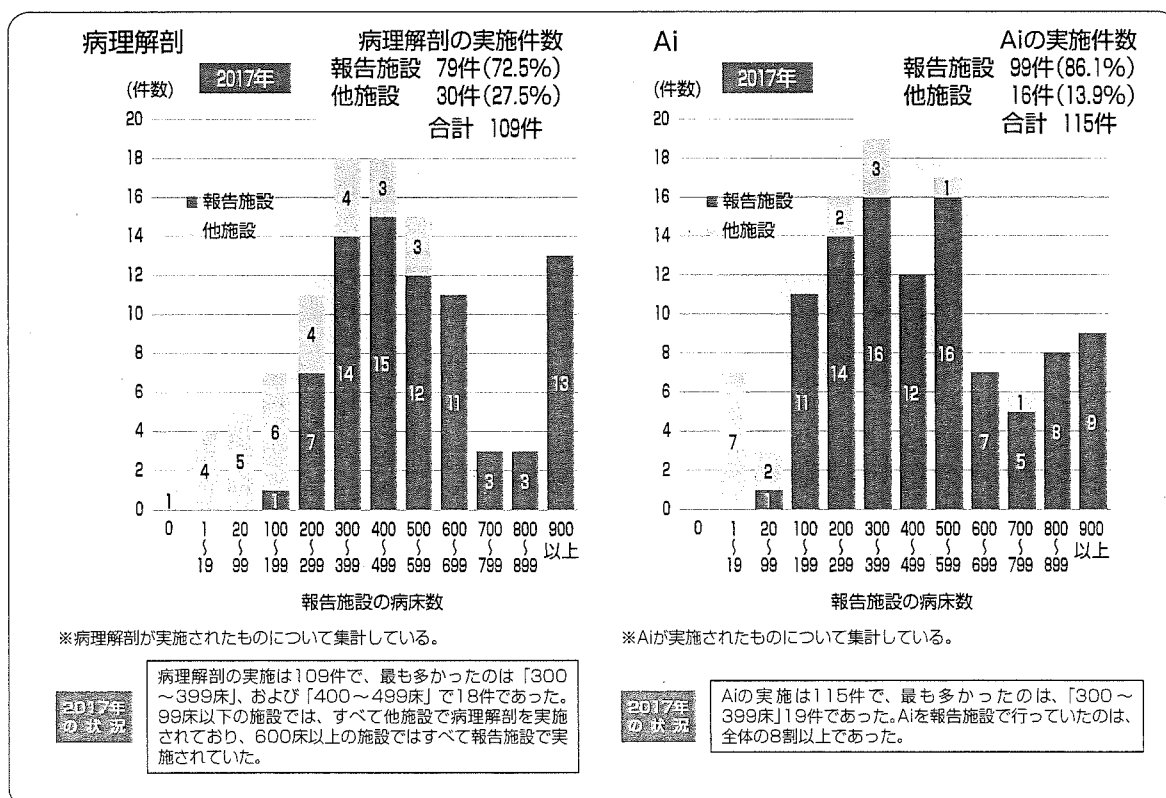
制度開始
からの状況

医療事故発生報告から院内調査結果報告までに12か月以上を要している理由として最も多かったのは「遺族への調査結果の説明やその後の対応に時間を要した」26件で、次いで多かったのは「外部委員の派遣までに時間を要した」25件であった。

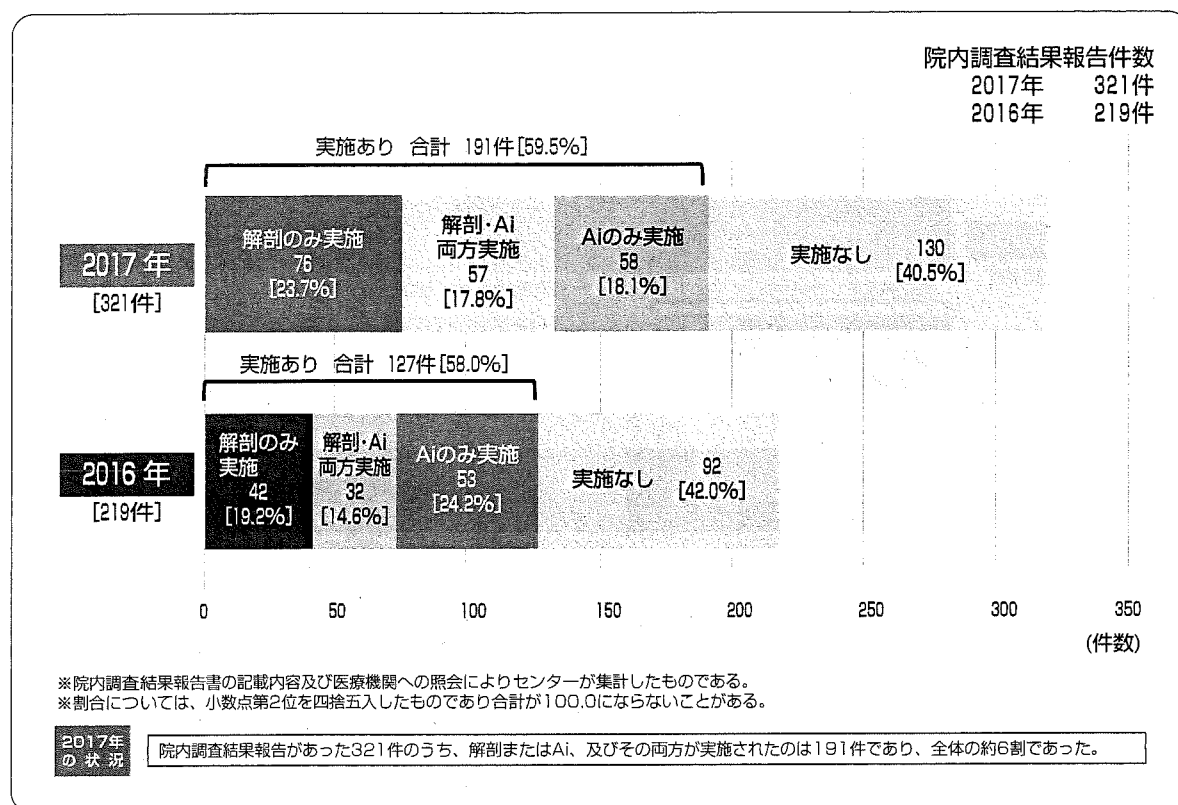
17. 解剖とAiの実施件数（数値版 3-(2)-①・②参照）



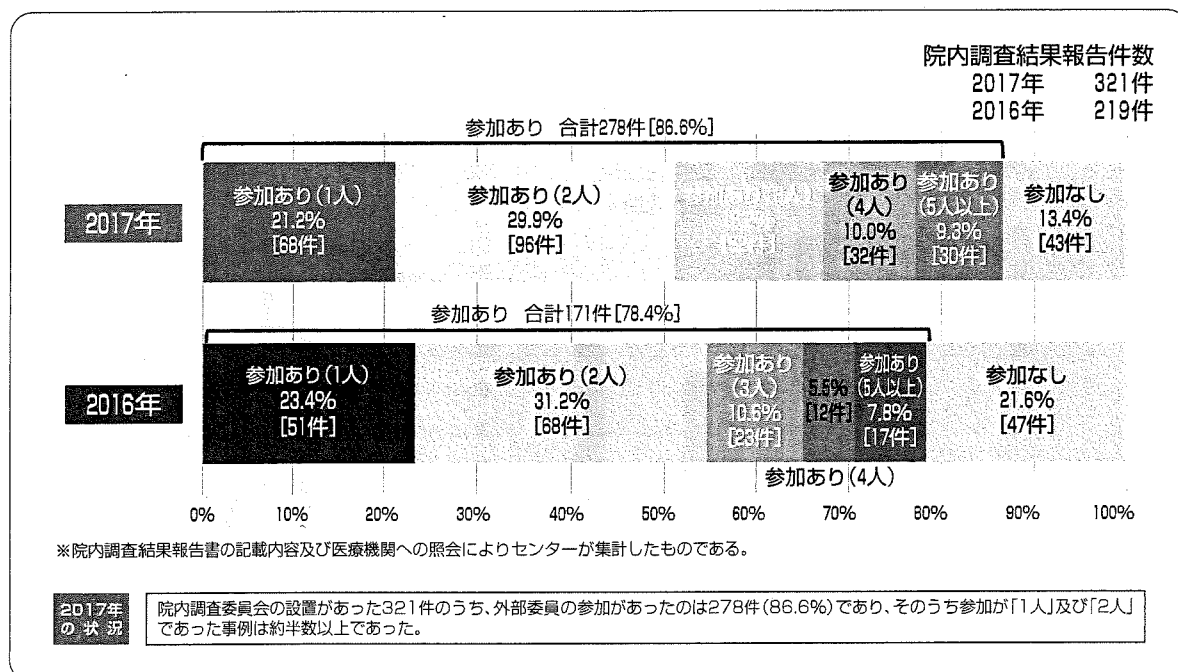
18. 病床規模別の病理解剖およびAi実施状況（数値版 参考 3-(2)-①・参考 3-(2)-②参照）



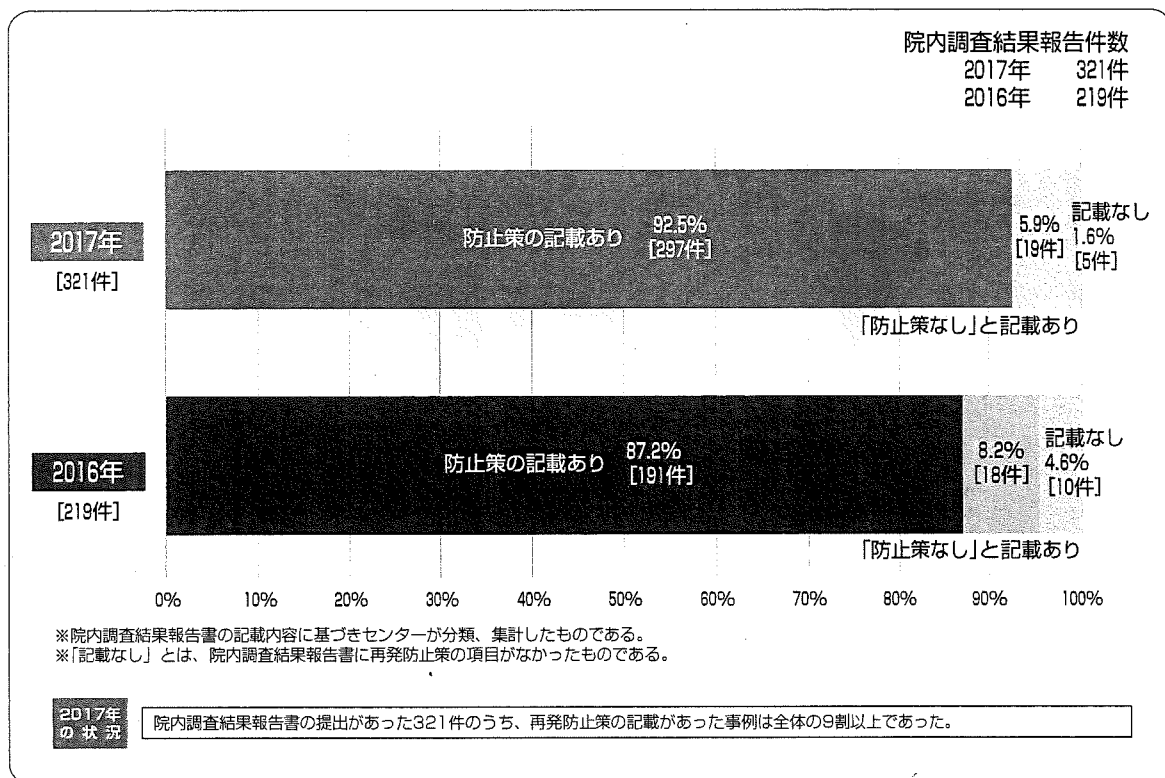
19. 解剖とAiの実施状況の内訳（数値版 3-(2)-③参照）



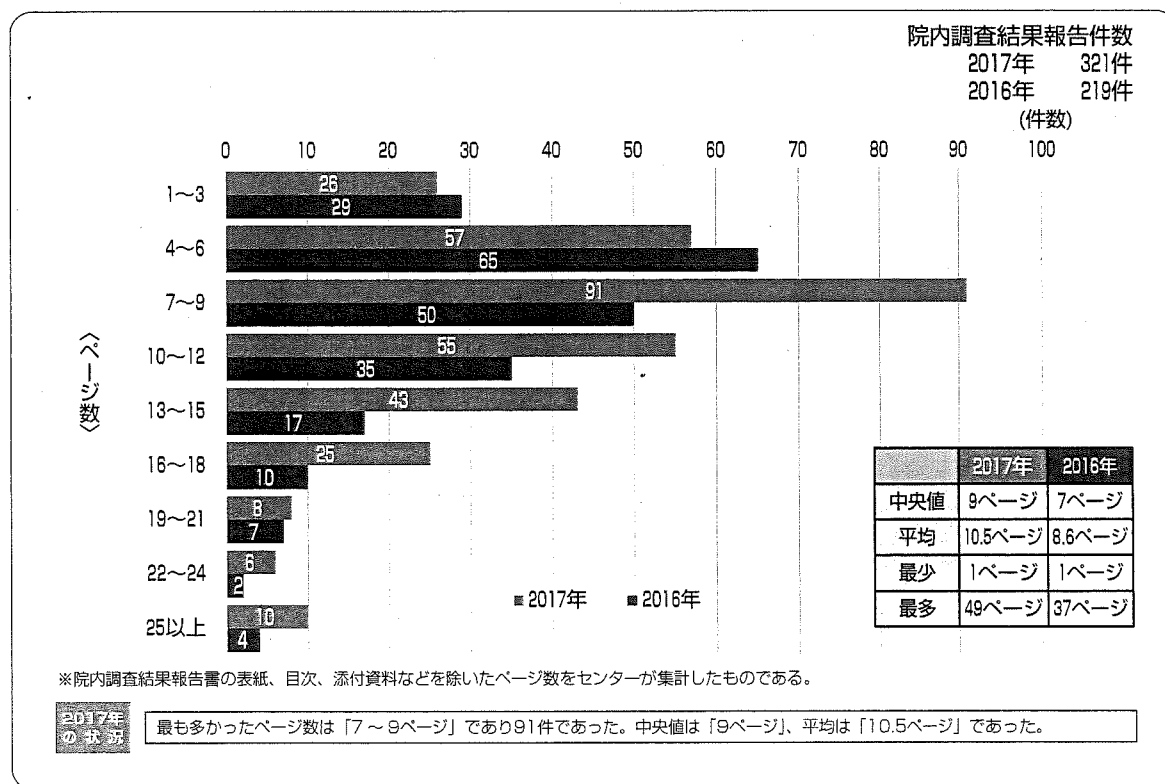
20. 外部委員の参加状況（数値版 3-(3)-④参照）



21. 再発防止策の記載状況（数値版 3-(4)-①参照）



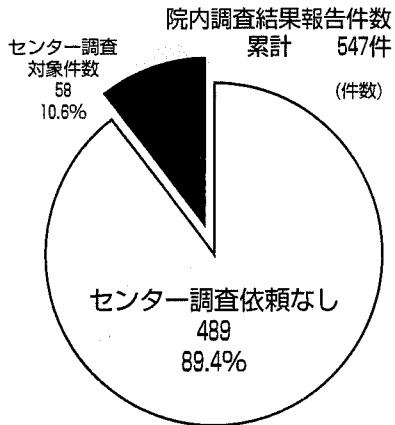
22. 院内調査結果報告書のページ数（数値版 参考 3-(6)-①参照）



センター調査の状況

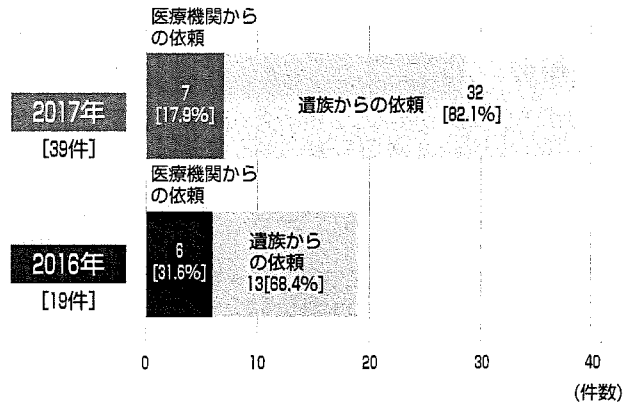
23. センター調査対象件数と依頼者の内訳（数値版 4-(1)-①・②参照）

1 センター調査対象件数



2 依頼者の内訳

センター調査対象件数
2017年(1-12月) 39件
2016年(1-12月) 19件
累計 58件



2017年
の状況

院内調査結果報告件数の累計は547件であり、そのうちセンター調査対象となった事例は58件（10.6%）であった。
2017年はセンター調査対象件数が39件であり、依頼者の内訳は、「医療機関からの依頼」が7件、「遺族からの依頼」が32件であった。

24. センター調査の依頼理由（数値版 4-(1)-③参照）

センター調査対象件数
累計 58件
(件数/重複計上)

依頼者	依頼理由		2017年	2016年	合計	
医療機関	死因が明らかでない		3	3	6	
	院内調査結果の検証をしてほしい		6	4	10	
遺族	院内調査結果に 納得できない	臨床経過	15	2	17	101
		死因	18	7	25	
		治療	20	10	30	
		説明と同意	8	3	11	
		再発防止策	8	4	12	
		委員会構成	3	3	6	
	院内調査が進まない		1	2	3	
	院内調査では信用できない		1	1	2	

※依頼理由は、センター調査依頼時の情報に基づき、センターが分類、集計したものである。

※1つの事例で複数の依頼理由がある場合は、重複計上している。

2017年
の状況

遺族がセンター調査を依頼する理由で、最も多かったのは「院内調査結果に納得できない」72件であった。